

(様式1)

平成27年度 学校評価報告書 (学校評価結果のとりまとめ)

神戸市立西神中学校
校長：玉置 章 司

| 項 | 重点目標(取組) | 取組状況・成果・課題 | 評価 | 改善策 | 学校関係者評価でいただいた意見等 |
|-------------------|--|---|----|--|--|
| 一人一人の伸ばす力への向け | ・自主・自立性の育成に努める。 | ・道徳や人権学習を通して命の大切さ、人を思いやる心、奉仕の精神を育む教育活動を展開した。 ・96%の生徒が積極的に学校行事に取り組み94%の生徒が「学校が楽しい」と答えている(昨年同様で良好である)。 | B | ・道徳・人権学習の時間確保と充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が楽しく感じる授業、わかると実感できる授業が今後もさらに充実できるように学校上げての取り組みをお願いしたい。 ・読んだり、書いたりする力は備わっているが、伝えられない。意見交換したり、共同で研究したりする教育活動の機会を増やす必要性を感じた。 ・自分の意見を安心して発言できる教室の雰囲気づくりに努めていただきたい。 ・福祉学習や職業調べ学習など生徒が主体的に取り組む学習の機会は素晴らしく思うので今後も続けてほしい。 |
| | ・基礎学力の定着を図る。 | ・80%を超える生徒が授業は「楽しく満足」と答え、昨年度とほぼ同様であった(授業アンケートより)。書く力の領域も向上している。 | B | ・生徒の学力の実態把握をしたが、それに基づく具体的な改善計画と実行が不十分なので、PDCAサイクルの学習指導を展開する。 | |
| | ・総合的な学習の時間の充実に努める。 | ・3年間を見通して、進路、生き方、防災学習を中心に調べたこと新聞にまとめて発表する学習を展開した。 | A | ・3年間を見通した計画的な総合学習を一層推進する。引き続き防災学習に重点を置き、地域と連携した体験的な学習活動を推進する。 | |
| 実教職員を磨き、学校を魅する魅力と | ・校内研修の充実 授業研究を実施し、教員の資質の向上を図る。 | ・言語活動の充実をテーマに、授業研究旬間を実施。年間3回にわたって、分かる授業、言語活動を充実させる授業について研究を行った。更に今年度は、「特別な配慮の必要な生徒への対応」もテーマに付け加え、研修を行った。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・全教科で「言語力の育成」に向けての取組を工夫し、生徒の授業満足度90%以上を目指す。 ・特別支援教育の見知を取り入れた授業や学級指導を展開し、より一層の「分かる授業」に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・B若手教師の割合が年々増加している中、学習指導・生徒指導など指導力が低下しないか心配である。学校が若い教師を育てるシステム作りの必要性を感じる。 ・ホームページや学校だより、西神ネットなどを使い分けて情報を発信するシステムはよかった。保護者だけではなく地域に対してもこれらのシステムが利用できないか検討してほしい。 ・行事等のアンケートの協力度が低いのは寂しい。しかし、建設的な意見もたくさんいただいているのはありがたい。アンケート内容等も考える必要があるかもしれない。 ・3年のオープンハイスクールと重なり、秋の学校公開デーの日程はよくなかった。 |
| | ・OJTの推進 学校が一体となって教師力の向上に努める。 | ・教師力自己評価システムを取り入れ、各教員が教師としての課題を把握し、その改善を意識して校務を遂行した。 ・西神中若手塾を開催し、若手教員の研修を実施した。 | B | ・適材適所の校務分掌とジョブローテーション、校務の遂行を通して、中堅教員と若手教員を育てる。 | |
| | ・情報発信の充実 「西神中だより」HPの積極的な活用。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「西神中だより」を毎月発行した。学年通信、学級通信も発行し、きめ細かな情報を発信した。また、学校ホームページの更新を定期的に行い、積極的に情報発信に努めた。 ・春と秋に授業公開デイズを実施。学校行事にあわせて保護者アンケートを実施したが回収率が低く課題である。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・どの学年・学級も個性を大切に充実した情報発信ができるよう努力する。 ・HPを利用し情報発信することをさらに充実させたい。 ・アンケートの回収期間の延長やPR方法の工夫により回収率を高める。また、多くの保護者が参加しやすいように小学校との情報交換を密にして重なりを避ける。 | |
| 特色ある神戸の教育を更に発展させる | ・環境教育の充実 KEMS認証に基づく環境教育・エコ教育の充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・KEMSに取り組むことで、環境にやさしい学校づくりを推進することができた。ゴミの分別やアルミ缶回収などの環境保全活動を行った。 ・節電・節水等前年度比-5%を目標に使用量削減に取り組んだ。 | B | ・職員が作成するプリントなど不要な印刷を避け、紙資源を有効に使用したい。また、エコ教育の観点からも教師自ら進んで不要時の消灯・エアコンの停止等に取り組んでいきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルについて意識を高めていくことは、大切なこと。アルミ缶回収や古紙回収など積極的な取り組みも見られるが、クラスによって取り組みの違いがあるので、そのあたりの意思統一が火必要に感じる。 ・防災学習や避難訓練など積極的な取り組みが見られる。震災のことを引き継ぐことも是非とも続けてほしい。 |
| | ・防災学習の推進 防災教育、命を大切にすることを推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に防災学習や震災学習に取り組んだ。 ・年間4回、避難訓練を実施した。また、ゲストティーチャーを積極的に活用し、1月16日には震災を読みつなぐ会を招聘して防災学習を行った。また、地域、神戸学院大学と連携して「減災クロスロード」や「市民救命士講習」にも取り組んだ。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・震災後20年が経過し、教わる側も教える側も「阪神淡路大震災」の事を知らない世代が増えてきているため、ゲストティーチャー等を利用して真実を伝えていきたい。 ・地域と連携した防災学習の推進をさらに図る。 ・東日本大震災復興支援活動を再開する。 | |

| | | | | | |
|--------------------|--|--|---|---|--|
| 市民が自ら学び子供の育ちを共に支える | <ul style="list-style-type: none"> 家庭地域との連携 神戸っ子応援団(美竹っ子応援団)の充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 神戸っ子応援団の始動に伴い、校内にコミュニティルームを設置し、地域や保護者との連携拠点とした。 生徒会や部活動を中心に「美賀多台夏祭り」「竹の台ふれあいまつり」などの運営協力や模擬店出店により地域との交流を深めた。また小学校・地域との合同クリーン作戦を実施した。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 「ふれあい懇話会」と「神戸っ子応援団」をまとめ、活動を充実させる。 今年度以上に地域の行事・活動に積極的に参加できるように導いていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> まつりなど地域の行事への参加はよかった。更に生徒たちへのボランティア意識を高めていただきたい。 神戸っ子応援団事業の一環として、小・中学校と地域とが連携しておこなった清掃活動はたいへん良かった。保護種の積極的な参加が更にあつたらと思った。 小中の連携を密にしてスムーズで効果的な教育活動を行っていただきたい。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 保護者との連携 | <ul style="list-style-type: none"> 家庭訪問や個別保護者会などを通して、家庭や地域の願い・思いの把握に努めた。また学級世話係会を年3回実施。家庭の思いや願いを把握し学校の課題について共有する場をもった。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 家庭訪問、個別保護者会等を通して保護者の願いを汲み取るとともに、一層の信頼関係構築に努める。また行事や保護者会等は保護者が参加しやすい日時を設定し、早くから日程を知らせる工夫をする。 | |